

第1回

三田市産業創造戦略見直し懇話会 【三田市概況資料】

R6.4.16

三田市 産業振興部 産業政策課

三田市の概要

三田市の位置

大阪市

直線 33km

神戸市

直線 22km



■三田市の位置

市役所所在地 三田市三輪2丁目1番1号
位置 東経135度13分 北緯34度53分
海拔 最高697.7m 最低130.0m
面積 : 約210.32km²
人口 : 107,015人 (R6.2月末現在)
世帯数 : 47,076世帯 (R6.2月末現在)

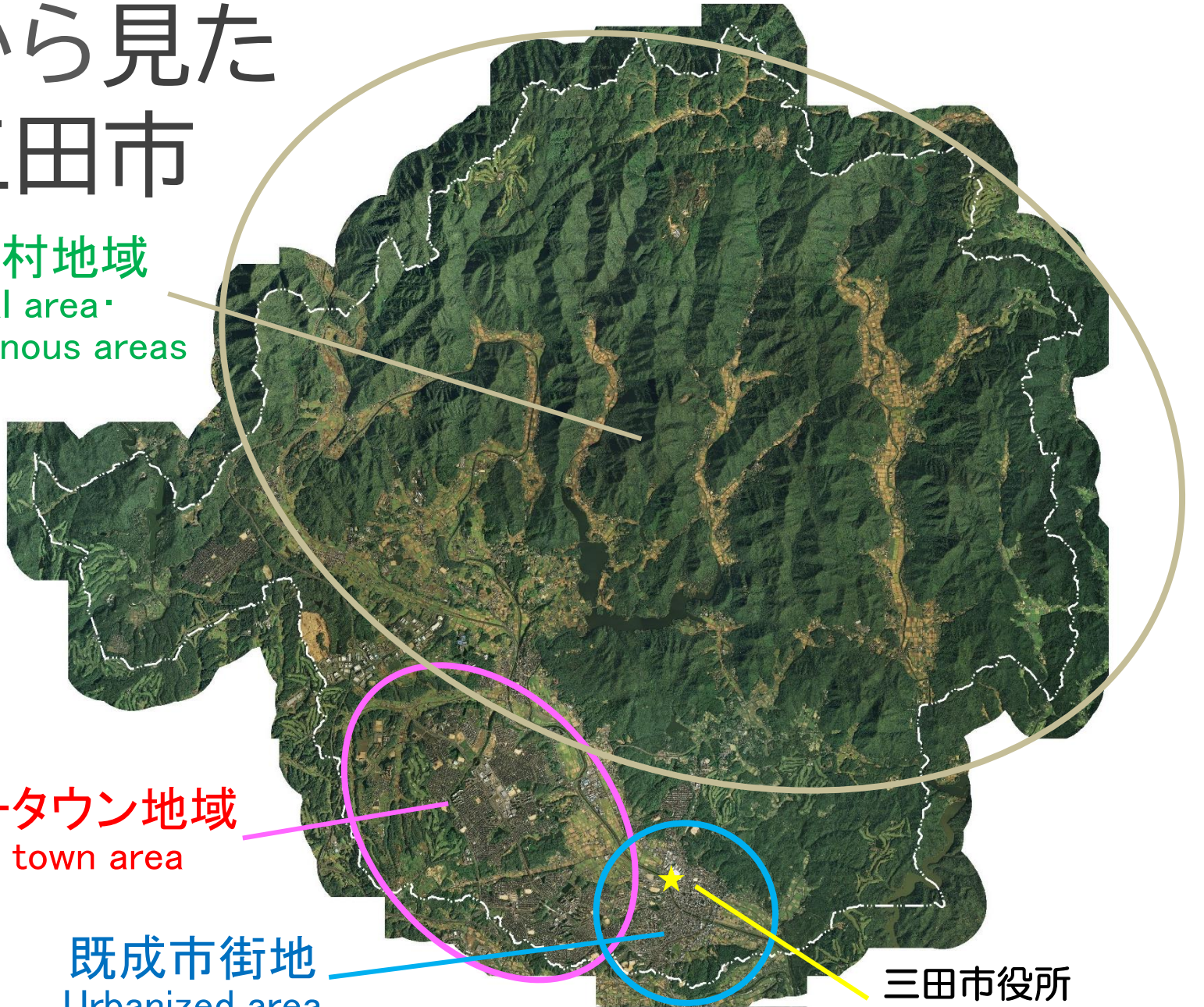
空から見た 三田市

農山村地域
rural area・
mountainous areas

ニュータウン地域
new town area

既成市街地
Urbanized area

三田市役所
SANDA city office



三田市の交通網

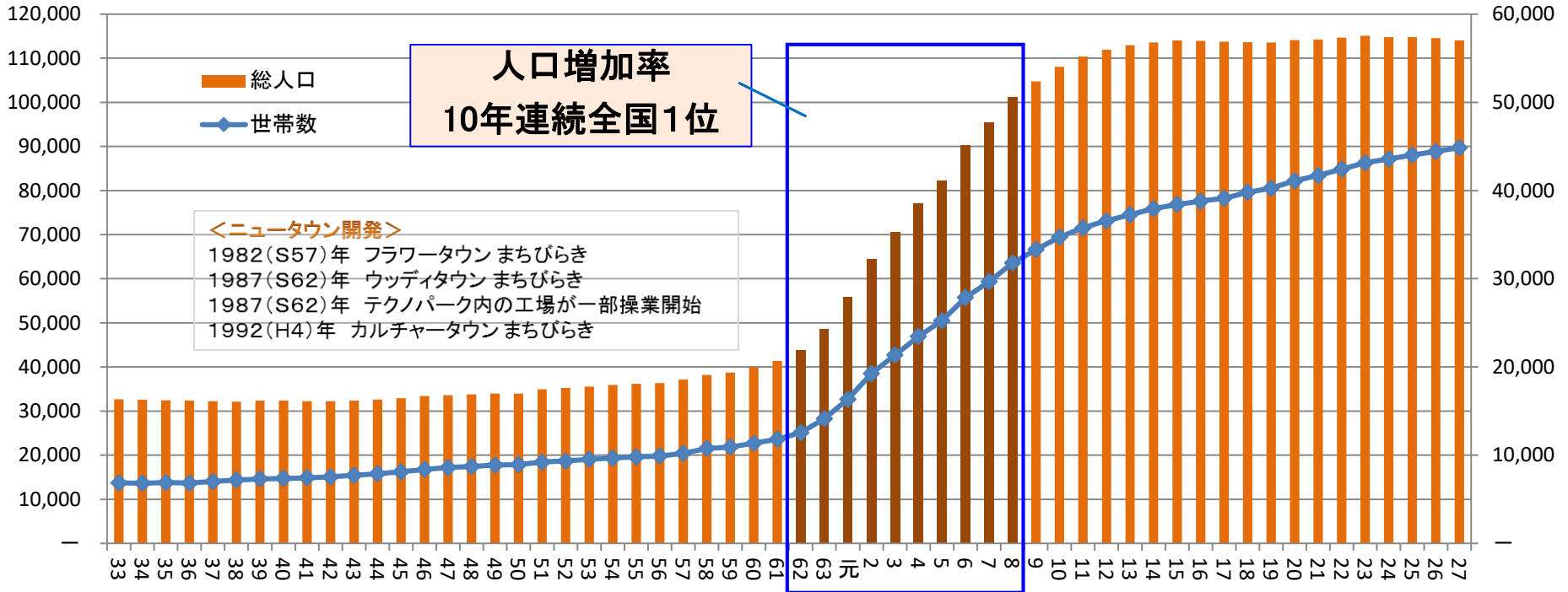


三田市の人口推移(その1)

各年10/1現在

人口(人)

世帯数



昭和
33年

44年 45年 48年

56年

62年

平成
3年

8年

14年

20年

24年

市制施行

北摂開発構想発表

北摂三田ニュータウン都市計画決定

北摂三田ニュータウン起工

三田市総合計画

北摂三田ニュータウン入居開始

人口増加率全国1位

人口 5万人に達する

三田市新総合計画

一〇万人に達する

人口増加率10年連続
全国1位

第3次三田市総合計画

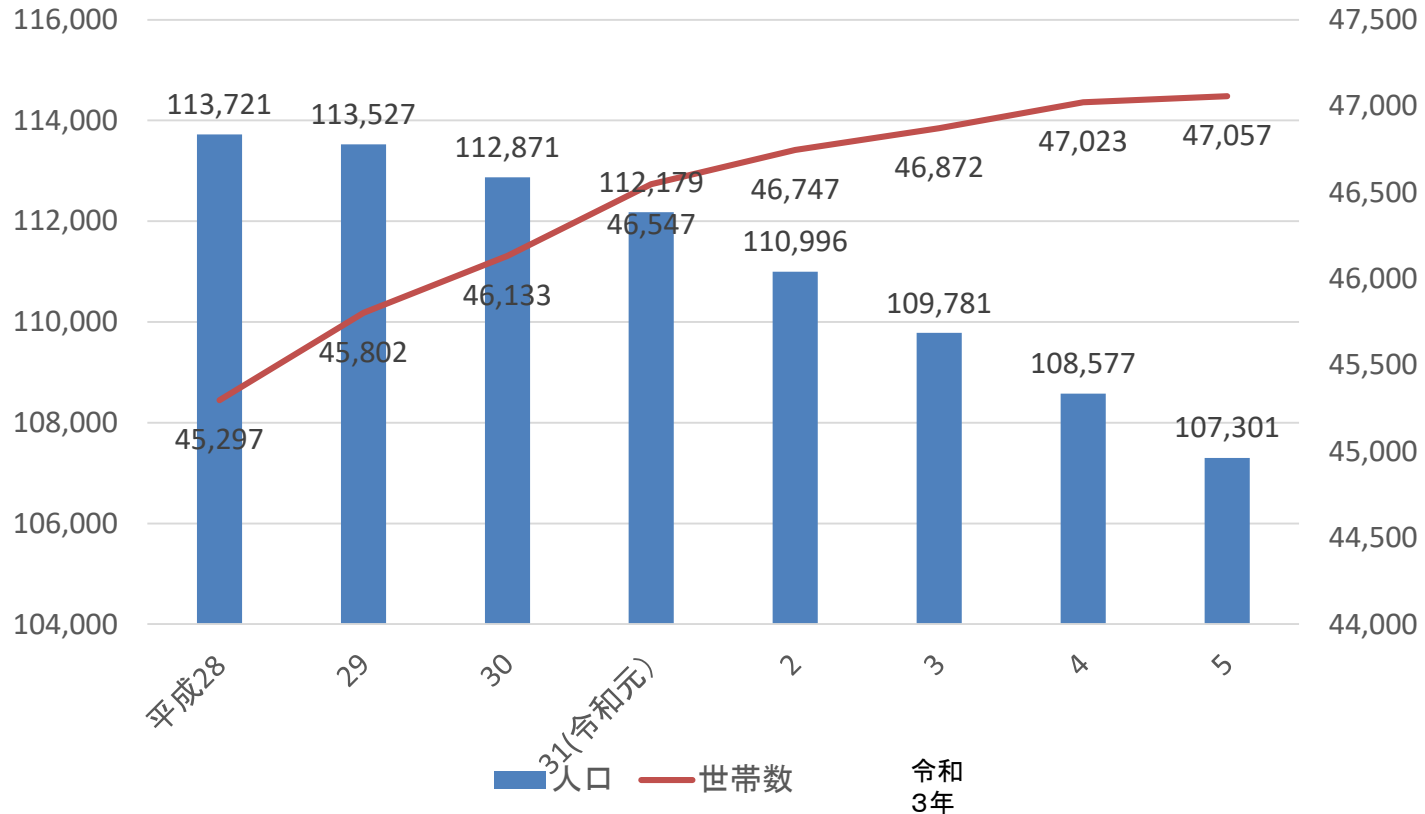
市制50周年

議会基本条例

第4次三田市総合計画
まちづくり基本条例

三田市の人口推移(その2)

各年10/1現在



令和
3年

第5次三田市総合計画

三田市の人口推計とまちづくり人口 各年10/1現在

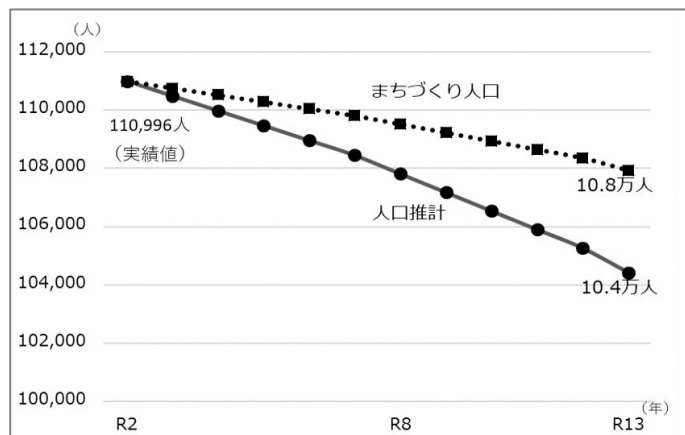
[人口推計]

本市の住民基本台帳人口に占める65歳から74歳までの人口比率は、平成22(2010)年から令和2(2020)年までの10年間で約6%、75歳以上の人口比率は約4%増加しています。この傾向は今後も進み、令和7年度以降、国や兵庫県の高齢化率を超えることが見込まれます。一方で、15歳から64歳までの人口比率は同10年間で約9%、0～14歳人口は約1%減少しています。こうした影響を受けた人口の減少傾向は今後も続くことが予想され、令和13年度には約10.4万人になると推計しています。

[まちづくり人口]

今後人口減少が長期的に進行する人口推計を前提として、基本構想の計画期間末におけるまちの人口規模を10.8万人と設定します。「人口減少にも負けないまちづくり」として少子化対策や移住・定住促進に取り組むとともに、まちの活力を維持するために活動する人を増やしていくことにより、これまでのまちづくりで築いてきた暮らしやすさを維持しつつ、住み続けられるまちを目指します。

■人口推計とまちづくり人口(各年10月1日現在)■



■地区別人口推計■※各年10月1日時点

	令和2年(実績)	令和13年推計
三田地区	14,130	13,678
三輪地区	15,255	14,105
広野地区	5,909	5,389
小野地区	2,088	1,834
高平地区	3,010	2,590
藍地区	9,265	8,341
本庄地区	2,189	1,905
フラワータウン地区	20,759	19,190
ウッティタウン地区	35,441	34,551
カルチャータウン地区	2,950	2,852
合計	110,996	104,435

※第5次三田市総合計画P11～12より

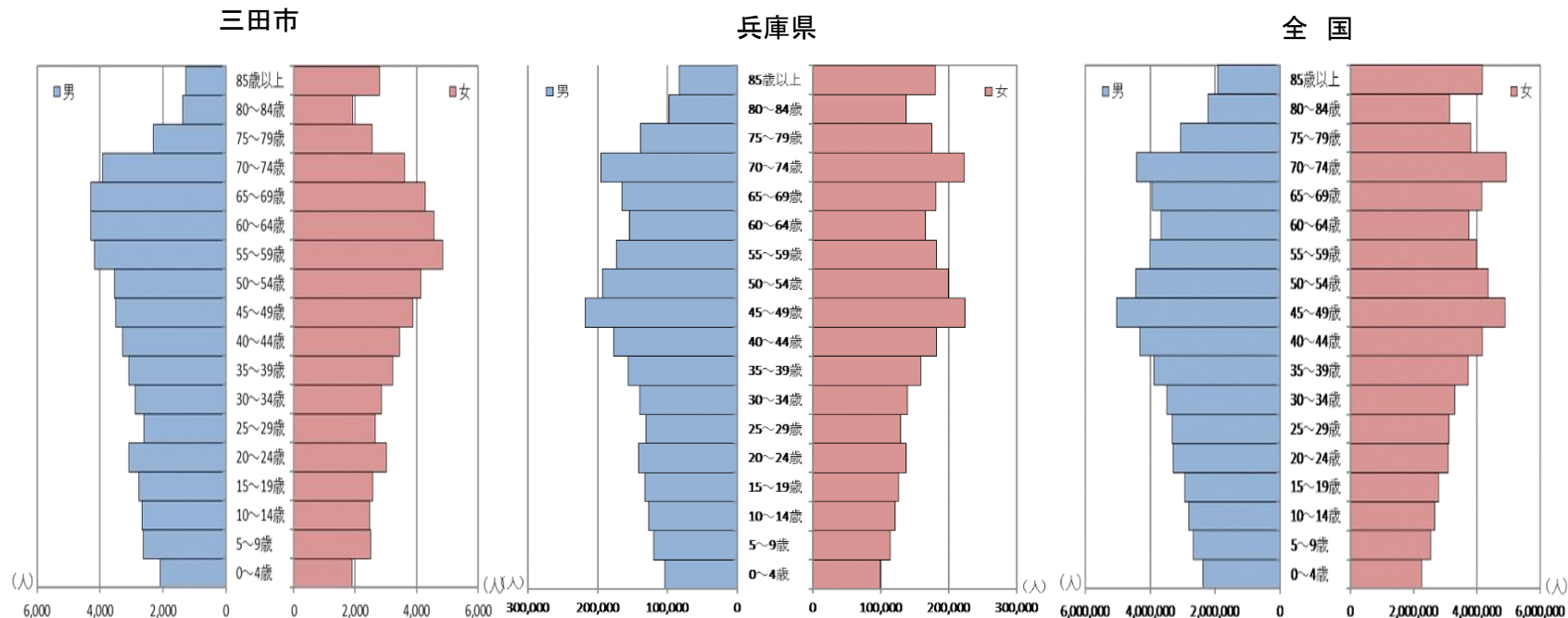
三田市の人口構成

[人口構造]

年齢階層別の人口構成をみると、国と兵庫県はほぼ同じ形となっており、三田市では50歳から60歳代に厚みがあることが特徴となっています。これは、ニュータウン住民の影響と考えられ、今後急速に高齢化※が進行することが予測されます。また、全国的に少子化※と言われていますが、本市でも年少人口が減少しています。

※高齢化：総人口の中で高齢者人口の占める割合が、相対的に高くなっていくことをいう。高齢化率とは全人口に占める65歳以上の人の割合をいう。高齢化率7.0%で「高齢化社会」、14.0%以上で「高齢社会」、21.0%以上で「超高齢社会」と言われる。

※少子化：出生数が減少することをいう。少子化により人口の維持や経済、社会保障、労働市場などに大きな影響を与えるとされている。

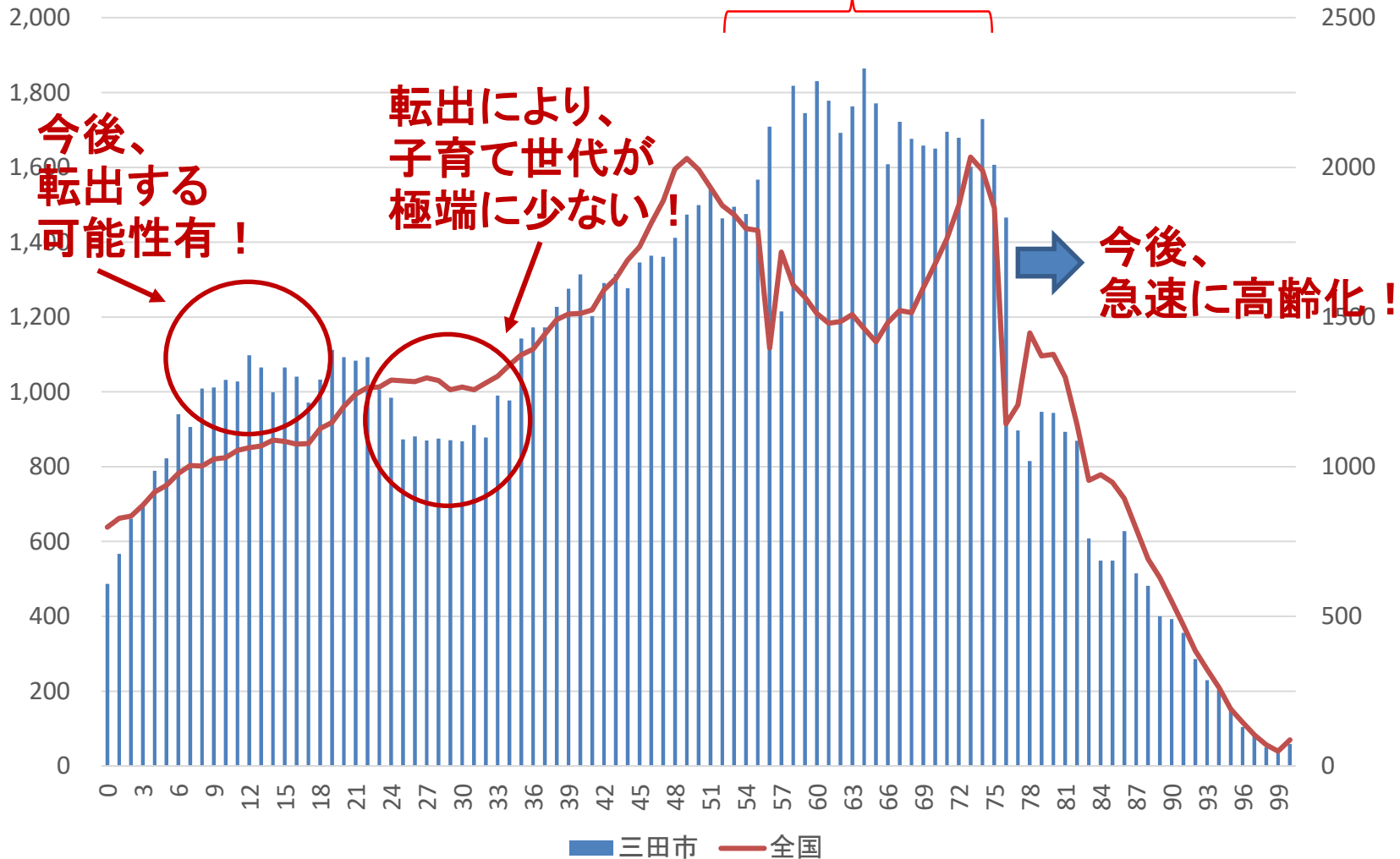


※高齢化：総人口の中で高齢者人口の占める割合が、相対的に高くなっていくことをいう。高齢化率とは全人口に占める65歳以上の人の割合をいう。高齢化率7.0%で「高齢化社会」、14.0%以上で「高齢社会」、21.0%以上で「超高齢社会」と言われる。

※少子化：出生数が減少することをいう。少子化により人口の維持や経済、社会保障、労働市場などに大きな影響を与えるとされている。

令和5年10月 年齢別人口の全国比較

大規模なニュータウン
開発に伴う転入者



三田市の地区別人口①

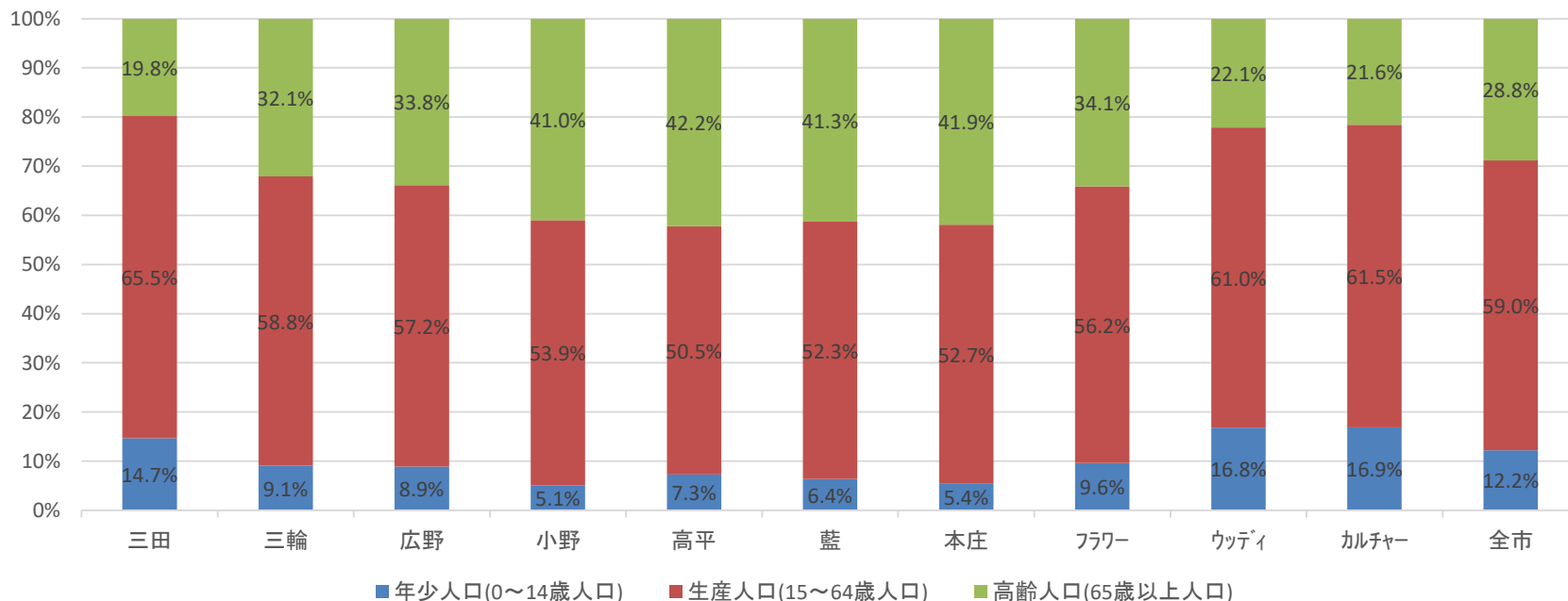
地区によって状況が異なる。
(都市部と農村部)



三田市の地区別人口②

令和5年10月末現在

	三田	三輪	広野	小野	高平	藍	本庄	フラワー	ウッディ	カルチャー	全市
年少人口 (0～14歳人口)	2,064	1,335	510	97	206	559	113	1,912	5,776	537	13,109
生産人口 (15～64歳人口)	9,213	8,605	3,264	1,027	1,423	4,581	1,093	11,177	20,935	1,959	63,277
高齢人口 (65歳以上人口)	2,778	4,701	1,930	780	1,187	3,612	868	6,783	7,587	689	30,915
計	14,055	14,641	5,704	1,904	2,816	8,752	2,074	19,872	34,298	3,185	107,301



学校数と学校名

	学校数	学校名
大学院	2	兵庫県立人と自然の博物館(兵庫県立大学大学院) 関西学院大学大学院
大学等	2	関西学院大学(神戸三田キャンパス) 湊川短期大学
県立学校	6	有馬高等学校、北摂三田高等学校、三田西陵高等学校、三田祥雲館高等学校 上野ヶ原特別支援学校、高等特別支援学校
私立学校	5	三田学園中学校・高等学校、三田松聖高等学校 クラーク記念国際高等学校三田分室、相生学院高等学校三田校
専門学校	2	三田モードビジネス専門学校、神戸医療福祉専門学校三田校
市立中学校	9	長坂中学校、上野台中学校、狭間中学校、八景中学校、けやき台中学校、富士中学校、藍中学校、ゆりのき台中学校 ひまわり特別支援学校(中高等部)
市立小学校	21	三田小学校、三輪小学校、志手原小学校、藍小学校、本庄小学校、広野小学校、小野小学校、高平小学校、母子小学校、武庫小学校、松が丘小学校、すずかけ台小学校、狭間小学校、富士小学校、あかしあ台小学校、弥生小学校、つつじが丘小学校、けやき台小学校、学園小学校、ゆりのき台小学校 ひまわり特別支援学校(小学部)

三田市の魅力と強み

魅力その1

進取の精神が息づくまち

川本幸民の精神がサイエンスを通じて現代に息づいています。



魅力その2

夢を育てる学びの都(まち)

地域の塾から大学、専門機関とも連携した学びの場があります。

魅力その3

関西三都の結節点

広域交通網が整備され、大阪・神戸・京都に近く利便性に優れています。



魅力その4

美味しい食の宝庫

環境に恵まれた豊富な食材とそれを活かした料理やスイーツがあります。

魅力その5

自然あふれる憩いの郷

都市公園や街に点在する公園、里山等、人々の心に潤いを与えます。



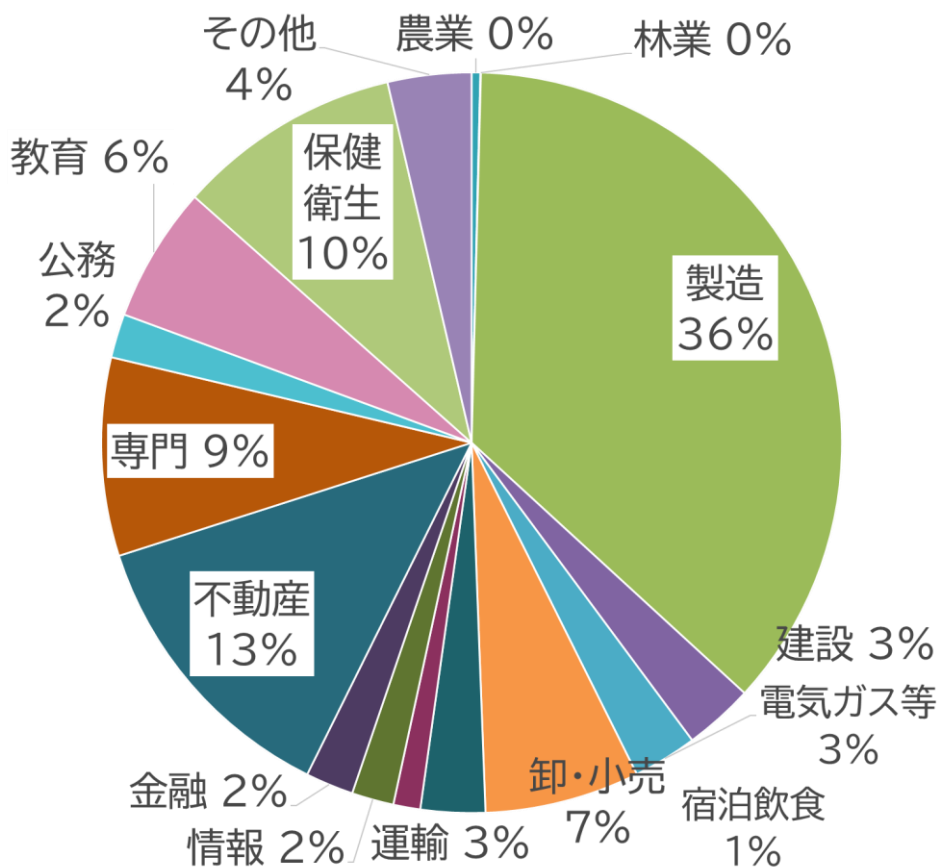
魅力その6

こどもを核としたまちづくり

安心して子育てができる環境があります。

三田市の産業の特徴

●市内総生産でみると、製造業の割合が最も高い「製造業のまち」
(R3 経済センサス)



■三田市の市内総生産

4,410億8,300万円

- ・第1次産業(農・林業) 0.4%
- ・第2次産業(製造・建設等) 39.5%
- ・第3次産業(サービス等) 60.1%

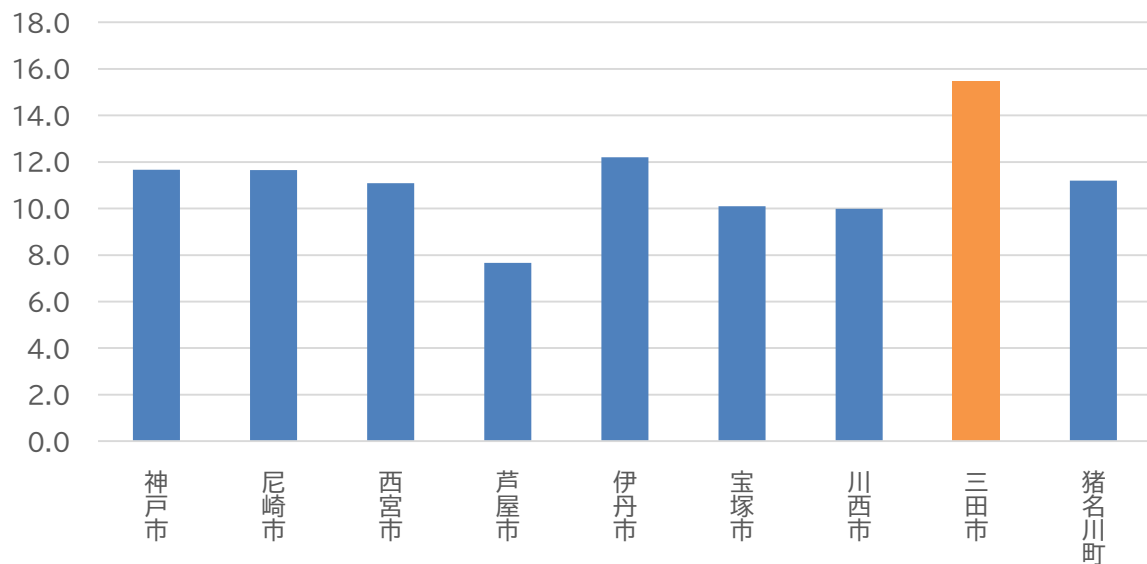
■製造業の割合36%

●1事業所あたりの従業者数は15.5人と阪神間の9市町の中で最も多い
(R3 経済センサス)

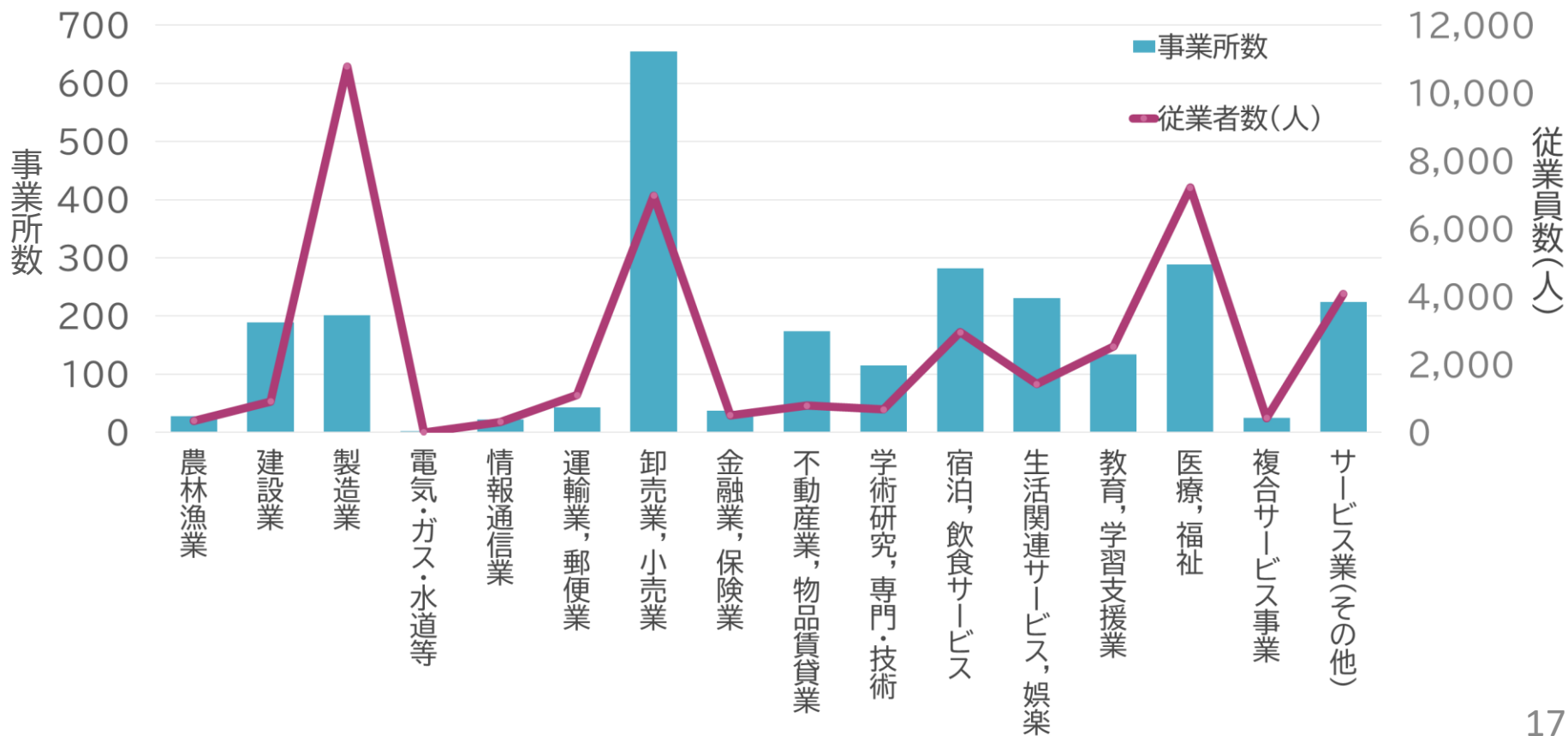
◆事業所数及び従業員数

区分		R3	H28	H26	H24
民営事業所	事業所数	2,651	2,730	2,783	2,706
	従業者数	41,031	39,678	38,165	37,137
	男	20,455	19,560	19,573	18,290
	女	20,234	19,952	18,590	18,703
	1事業所あたりの従業者数	15.5	14.5	13.7	13.7

◆1事業所あたりの従業者数

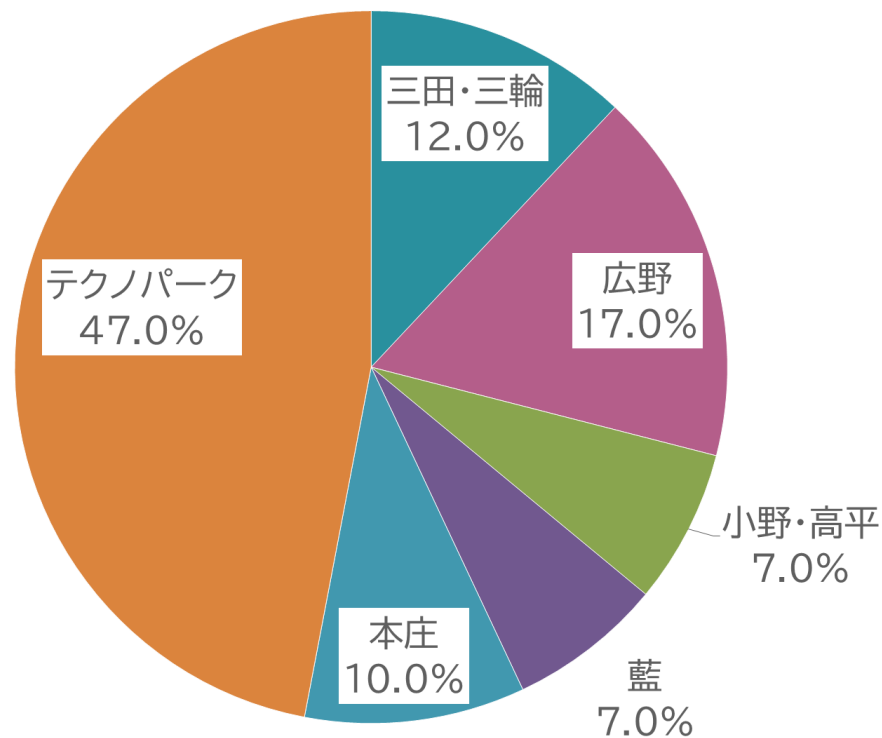


●事業所数は卸売業・小売業が最も多く、従業員数は製造業が最も多い
(R3 経済センサス)

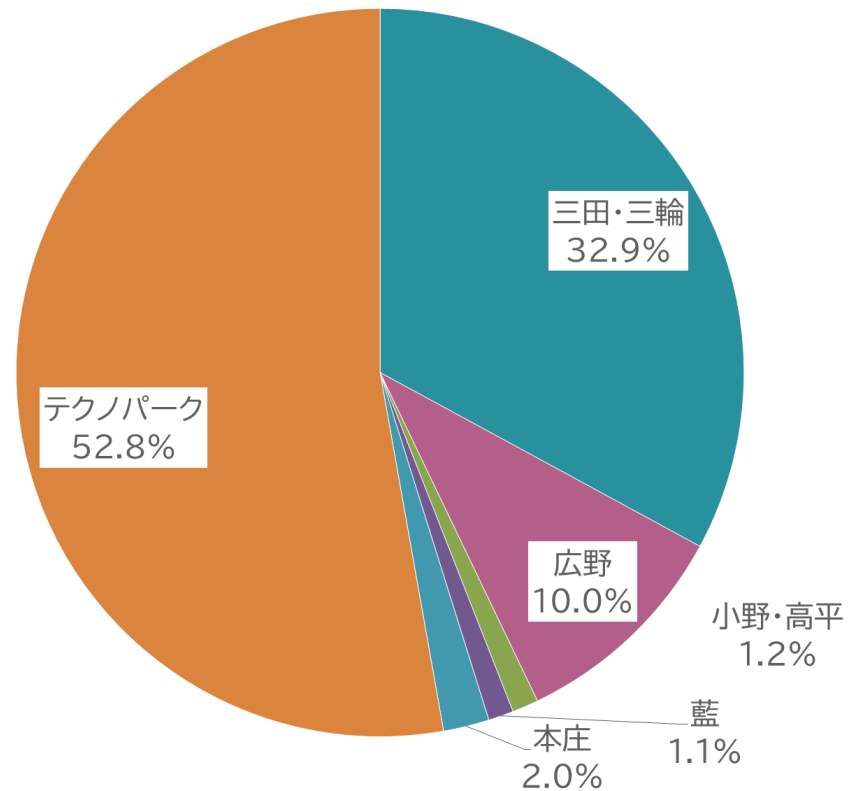


●工業の事業所数、従業者数ともにテクノパークが最も多い
(R3 経済センサス)

地区別事業所数比率



地区別従業者数比率



●事業所数・製造品出荷額等・従業者数の推移(従業員4人以上) (R3 経済センサス)

